

健工かぞく便り

第198号

2023.8
葉月・August



第200号まで
あと2号

~こんにちは~

早いものではや1日盆地ですね。今年は実家のお墓をクリーニングしました。35年命の流れを謳としてピカピカです。お墓参りが樂いけれども

ろくぶんの ろく	8/8は… 「親孝行の日」	親孝行について	話そう
社長	自分の事で心配をあたえず安心して生活してもらうことが大切だと思っています。		
常務	元気な時に旅行によく行きました。旅行は思い出が沢山でき、ずっと心に残るからいいですよね。		
小坂	特になんの用事がなくても週に1.2.度は電話しています。		
金岩	自分も両親も望んでいる高校に入れた事かな?		
平木	コロナが流行りだす直前に「一度迎賓館に行ってみたい」という母と一緒に東京に行きました。良いタイミングで行けて良かったです。		
井川	親にマッサージする機会が多くなり、だんだん上手になりました。		

暑中お見舞い
申し上げます



皆様 盛夏の候、皆様におかれましても益々
ご清栄のこととお慶び申し上げます。
コロナ禍を収束し経済活動も回復
しております。また社員一丸となって
精進に努めます。故具
井川 繩

いーじホーム
株式会社 健工舎イガワ

建築・素朴な疑問 左官のお話



家づくりには様々な職人さんが携わります。
大工、設備、電気、建具、瓦屋などは、その名前から
どのような職業かわかりますが、左官と聞くと
ピンとこない世代の方もいらっしゃるかもしれません。
今回はそんな左官について調べてみました。

左官はどんな仕事?

鎧(こて)を使って壁や床などを塗る仕事・職人のこと。

どうして「左官」って言うの?

その1 宮廷に入るための位だった説

昔は宮廷出入りするためには、何かしらの官職が必要だったので、「左官」という官職を与え、その名称が現在でも使用されているという説。

その2 大工を右官と呼んでいたから説

建築の骨組みを作る大工のことを「右官」と呼んでいたことから、それに対して壁塗りの職人を「左官」と呼ぶようになったという説。

その3 階級の名残りという説

奈良時代、宮殿の建築に携わる組織「木工寮」の階級で、次のような序列があったそうです。

- 一、守(かみ)・・・現在の大工
- 二、介(すけ)・・・桧皮葺き大工
- 三、掾(じょう)・・・金物大工
- 四、属(そうかん)・・・壁塗り職人



「属(そうかん)」が訛って「さかん」と呼ばれるようになったという説。

その4 「しゃかん」→「さかん」になった説

昔は左官のことを「沙官」や「沙砾」と書き、「しゃかん」と呼んでいたそうです。それが訛って「さかん」になったという説。

その5 天皇からもらった称号の説

645年に御所の外郭にきれいな土塀をつくった許勢波多哀(こぜはたお)が、天皇から賜った称号が「左官」だったとされる説。

「左官」は歴史ある職業だということが分かりますね。職業が増え機械化が進み、それでまだ人の手でしかできない技術「職人技」を大切にしたいものです。

※諸説あり

